

第2回明専スクールに参加して

情報工学研究科情報システム専攻M2 安倍 昌洋



明専スクールについて

平成24年10月20日と11月17・18日の3日間で第2回明専スクールが開催されました。

明専スクールとは、「企業に入社した時に、一味違う社会人に育てることをコンセプトに、就職が決まった学生を対象にし、有力企業でご活躍されてきた九州工大卒業生の先輩方が自らの経験を基にした社会常識に関する講義、グループ討議、プレゼンテーションなどを行う実践型キャリア育成講座です。

講義

講義内容は、九州工大の歴史から始まり、社会人になる心構えや仕事の進め方、今身に付けておくべきことなど様々です。どの先輩方も「社会人と学生の違い」を説明され、正直耳の痛くなるような内容が多く、学生の気持ちでいることに危機感を覚えました。その中でも「愚痴と言いつつは意地でも言わない」という、納富啓氏（加48）の言葉が強く印象に残っています。この言葉からは技術者や社会人だけでなく、人間としてのあり方について考えさせられました。そして、私はこの講義を通じて社会人になる前に決意と覚悟を固めることができたと感じます。

グループ討議

3グループに分かれて討議を行い、「エネルギーを考える」「今一度企業を考える」

「ものづくりとは何か」

というそれぞれのテーマについて限られた時間内にグループでひとつの答えを出し、発表資料を作り、全員の前でプレゼンテーションを行うというものです。

どの議題も企業で働く社会人なら考えるべきテーマであり、議論する場を与えていただいただけでも意味がある内容だと思います。それに加え、参加した学生の意識とレベルの高さに刺激を受け、自分の未熟さを感じることができました。

懇親会

会場を仙水荘に移して、お酒を交えながら行われた懇親会では、講義とは一味違うお話を聞くことができました。その中で印象に残っているお言葉は、川村義憲氏（設制H7）からお聞きした「3年先輩と同じ仕事をしろ」というお言葉と「自分と与えられた仕事とその企業でどのような意味をもつのかを考えながら仕事をしろ」という2つのお言葉です。同期よりも先輩をライバル視することとで常に目標を高く持つことができ、また、自分の仕事企業が企業にもたらす

利益を考え仕事をすることで、貪欲にスキルアップを図ることができるといふアドバイスをいただきました。明専スクールの先輩方は、私たちが今後社会人になって経験するであろう困難を何度も乗り越え、時には失敗し、現在に至っていると思います。その豊富な人生経験に裏付けされた意見を聞くことができる機会は滅多にないので、大変有意義で貴重な時間であったと思います。

最後に

今回、明専スクールに参加したことは、自分の将来を考える上で大きな糧となりました。もし明専スクールに参加していなければ、学生気分のまま社会人になり、後悔していたかもしれません。これから社会人になる学生には是非とも明専スクールに参加することを勧めます。他の同期にはない、断固たる決意と覚悟を持って入社することができるはずです。最後になりましたが、私たち学生のためにこのような貴重な機会を設けていただいた明専会の皆様に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。